

# 鴻池会地域ケアセンター 3月公開研修会のご報告



## 多職種協働でつくる 「リハビリテーション」と 「自立支援」

3月の公開研修会は、『多職種協働でつくる「リハビリテーション」と「自立支援」』をテーマに、鴻池荘訪問リハビリテーション篠宮健理学療法士がお伝えしました。今回は大和高田市、葛城市、香芝市方面に対し、当法人の訪問リハビリの活動啓発を目的に奈良県産業会館（大和高田市）にて開催しました。事例を基に、プランを立てる際に必要なICFの観点から、セラピストの得意分野である評価と能力予測が目標に向けての支援の根拠となりえること、その支援は関わる人それぞれが役割を担い、連携していくことがリハビリテーションの本質であることをお伝えしました。



介護保険制度だけでなく、人や環境などの地域の資源をいかに活用（連携）していくか、リハビリテーションの考え方を改めて学べた研修会でした。

自立支援において、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の得意分野である「評価、能力予測」は「根拠」に基づいた支援を行う基礎となります！

制度の方向性として「多職種連携（社会）参加・自立支援」が当然のことされる今後、それぞれの得意分野を最大限活かしていきける連携、すなわち「リハビリテーション・連携」を築きあげていきましょう

我々、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は評価ができる！

目標に沿って「評価（アセスメント）」を行い、課題の抽出と能力予測を実施

私たちの出発 → 支援の根拠となる情報を提供できるということ

PT/OT/STの専門分野  
それは「評価」「能力予測」

- ✓ What: 何ができない、できそう
- ✓ Why: なぜできない、できそう
- ✓ Where: どこでできそう
- ✓ When: いつまでにできそう
- ✓ Who: だれと一緒にできそう
- ✓ How: どのように(方法)

それが「リハビリテーション」皆さん1人1人が支援者